



那覇市民の友

第685号 毎月1回発行
2008年(平成20年)
2月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年12月末現在	
総人口	316,668 (2,119)
男	152,814 (1,127)
女	163,854 (992)
世帯数	131,349 (1,296)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	93,918
真和志	104,849
首里	58,094
小禄	57,688

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8535 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷(株)近代美術



那覇の物産品を一堂に

第30回那覇の物産展

那覇の物産を一堂に集めた「第30回那覇の物産展」が、1月15日(火)から20日(日)までの日程で、(株)沖縄三越6階イベント広場で開催されました。

同展は、那覇の物産の普及促進と生産者の意欲の高揚、地場産業の振興を目的に、毎年開催されているもので、今回で30回目となります。

会場には、壺屋焼、首里織、琉球漆器・紅型などの那覇市の工芸品のほか、健康食品やお菓子、海産物など39の企業や事業者から出展された県産品が、所狭しと並べられました。物産展の初日には、開場と同時に

多くの市民や観光客らが会場を訪れ、各店舗の販売員の説明を聞きながら商品を手に取り、熱心に品定めをする姿が見られました。

なかでも、那覇市長賞で最優秀賞を受賞した(有)ダムナカン飲料の健康酒「金の煌」や優秀賞の(有)琉球伝の「琉球カリィ・海人」、那覇市伝統工芸館の琉球ガラス漆器「ラクラフ」などが、人気を集めていました。

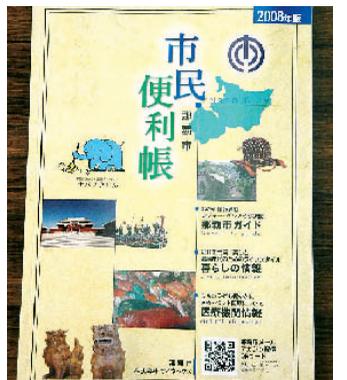
また、特別企画として「沖縄の食と健康」をテーマに、農学博士で琉球大学名誉教授の尚弘子さんによる講演も行われ、長寿県・沖縄を支えてきた沖縄の食文化の大切さについて、ユーモアを交えながら話す尚さんのお話に、会場を訪れたみなさんは熱心に聞き入っていました。

主な紙面

- エコファーマーについて知っていますか?
- あなたのやる気を市政に
- 平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まります
- 情報P A C K

6 4 3 2
7 5

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を發揮しながら協力しあうことです。

市ではこのたび、(株)サイネックス(大阪府、村田吉優社長)と「那覇市ハンドブック市民便利帳共同発行業務」の協定を締結。昨年12月下旬に、143,000部の便利帳が完成しました。

市民便利帳は、主に那覇市に転入してきたみなさんに、各種手続きの方法や市の行っている行政サービスなど、生活していく上で必要な情報を提供するために、一冊にまとめたガイドブックで、毎年一回発行していました。

しかしながら、平成19年度は、厳しい財政事情などから、便利帳発行事業の縮小・廃止を検討することを余儀なくされました。

市としては、市民サービスの低下を防ぐためにも、企業のみなさまの持つノウハウとネットワークを活かし、協働の形で市民便利帳を発行出来ないものかと模索していたところ、県外には、企業との協働で市民便利帳を発行している自治体があることがわかりました。

そこで、市でも公募を行い、企業から提案をいただきました。提案のあった複数の業者の企画書をプロポーザル方式で審査した結果、大阪府や千葉県などで、同様の市民便利帳の発行実績のある(株)サイネックスに決まりました。

企業として、地方自治体との官

必要な情報を 全世帯へ

新しい市民便利帳は、これまでの行政情報だけでなく、那覇の歴史やまつりの紹介、地域の医療機関や災害発生時に役立つ防災マップなどが追加され、より楽しめる内容になっており市内全世帯に配付します。市民のみなさまどうぞ活用ください。

また、市民便利帳の趣旨にご賛同いただき、広告を掲載するという形で協力いただきました企業のみなさまのおかげをもって市民便利帳は完成することができました。本当にありがとうございました。



市民便利帳を手にする(株)サイネックスの村田吉優社長(左)と翁市長

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

R2100 再生紙を使用しています。